



令和5年度が始まりました。

令和4年度がうまくいかなかった子どももそうでない子どもも、令和5年度は「良い年度にするぞ」と、清々しい気持ちと同時にやる気一杯の気持ちで迎えていることでしょう。4月1日からはみんな同じスタートラインに立ちます。頑張れ、子どもたち。

寂聴さんの言葉

瀬戸内寂聴さんの名は、多くの人を知っておられることでしょう。小説家であり、天台宗の尼僧さんでした。多くの作品とともに、様々なところで講演をされるなどして、私たちに生きる上での大切なことを教えてくれた人でした。残念なことに、一昨年、11月に亡くなりました。

今回は、「寂聴 九十七歳の遺言」(瀬戸内寂聴 朝日新書)から、私たちが生きていく上での示唆が得られる言葉を紹介します。

- なぜ、あなたがあなたの両親のもとに生まれてきたのか。自分が幸せになるためだけではないのです。誰かのために、誰かを幸せにするためにこの世に送られているんですよ。たった一人でもいいから、自分以外の誰かを幸せにしようという気持ちを忘れないでください。
- 私は多く傷つき、多く苦しんだ人が好きです。挫折感の深い人になる。それは長い目で見れば決してマイナスだけでも、不幸だけでもありません。何の傷もつかず、挫折も知らずに育った人は、きっと思いやりのない、自己本位の人になるでしょう。人間は苦しんだ分だけ、愛の深い人に育っていくのです。
- 私たち誰もが何かしら、人にいえない辛いことを持っています。それぞれがそれに耐えて、辛抱して生きています。ただし、不幸は泣き顔につきます。ニコニコしていると不幸は逃げていく。幸福は笑顔につくのです。だからいつも鏡を見て、自分の一番可愛い顔で笑顔にしていってください。いつでも前向きに、楽しい顔をしていきましょう。
- 自分がお金持ちになろうとは思わないで、自分のことはさしおいて、あの人を豊かになるように願ひ、行動する。自分以外の人を幸せにすることこそが、生きるうえで一番尊いことだと思います。何も難しい話ではありません。たとえば、仏教にはさきほどもいった「和顔施」という教えがあります。和やかな顔を相手に与えなさい。いつもニコニコして笑顔でいなさいということ。それだけで他者への立派な施しになるのです。皆さん一日一回、必ず笑ってください。その笑顔はまわりの人をきっと幸せな気持ちにします。
- 人間というのは優しいのが一番の美德なのだと思います。年寄りの世話をするのを嫌がる若い人は、その美德がないのかもしれませんが。優しいというの、やはりひとつの才能なのでしょう。

ウクライナでは、ロシアの侵攻が始まって1年が過ぎ、子どもを含めた多くの人々が亡くなっています。また、トルコ、シリアでは今年2月に大きな地震が発生し、ここでも多くの人命が失われました。また日本においても、強盗で人が殺されたりするような嫌なニュースが流れています。今の世の中、閉塞感が感じられる出来事が多いのですが、私たち大人が正しいと思われる行動をし、その後ろ姿を見せることがこれからの日本を背負う子どもがたくましく育つのだと思います。